

〔一〕

號八十二千六第

(日曜木)

新聞 每 城 磐

日十三月一年六十和昭

(可認物便郵局三第百二十二月四年上正大)

刊夕日九十一



連讀
講談
畫
城
桃
川
若
喬
燕

鑑定
鑑定
鑑定
鑑定
鑑定
鑑定
鑑定
鑑定
鑑定
鑑定

病室增築、手術室完備
婦人科五十嵐雄二

疾患
職業、天運、家庭運、男女線
名前のみで一代の運命がわかる……

「何なんと云はれました」
「イヤ隠しても夫れと察しら
考へたことは一度もござい
る」其方の苦惱、不肖乍ら光
ません」

葉子未社を相手に遊興し乍ら
のつたので近日江戸へ下る
の様子では仇討の用意萬端と
心算、夫れ故足手綱ひの妻子
を離せん其方の考へであら
がよう判ります、毎日のやう
も日々にやつれ行く其方の姿
の様子では仇討の用意萬端と
心算、夫れ故足手綱ひの妻子
を離せん其方の考へであら
がよう判ります、毎日のやう

「金子と云はせます」
「イヤ隠しても夫れと察しら
考へたことは一度もござい
る」其方の苦惱、不肖乍ら光
ません」

葉子未社を相手に遊興し乍ら
のつたので近日江戸へ下る
の様子では仇討の用意萬端と
心算、夫れ故足手綱ひの妻子
を離せん其方の考へであら
がよう判ります、毎日のやう
も日々にやつれ行く其方の姿
の様子では仇討の用意萬端と
心算、夫れ故足手綱ひの妻子
を離せん其方の考へであら
がよう判ります、毎日のやう

吾が町内會長の
意氣に感じて



小名瀬町

感激瞬組生

亡の時であり何人と誰も死ぬ

奉公の秋である。公私優先して居るので

内に者二司敬服して居るので

あるが故に吾々町内住民とし

て最も誇り得る馬目氏の絆徒

であり常に時局を正視し平

穀よく吾が町内を指導され町

に戰死者宅に到り御宿夜とな

るが爲め馬目氏は町内住民とし

て最も誇り得る馬目氏の絆徒

であり常に時局を正視し平

穀よく吾が町内を指導され町</p

